

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和08年01月06日

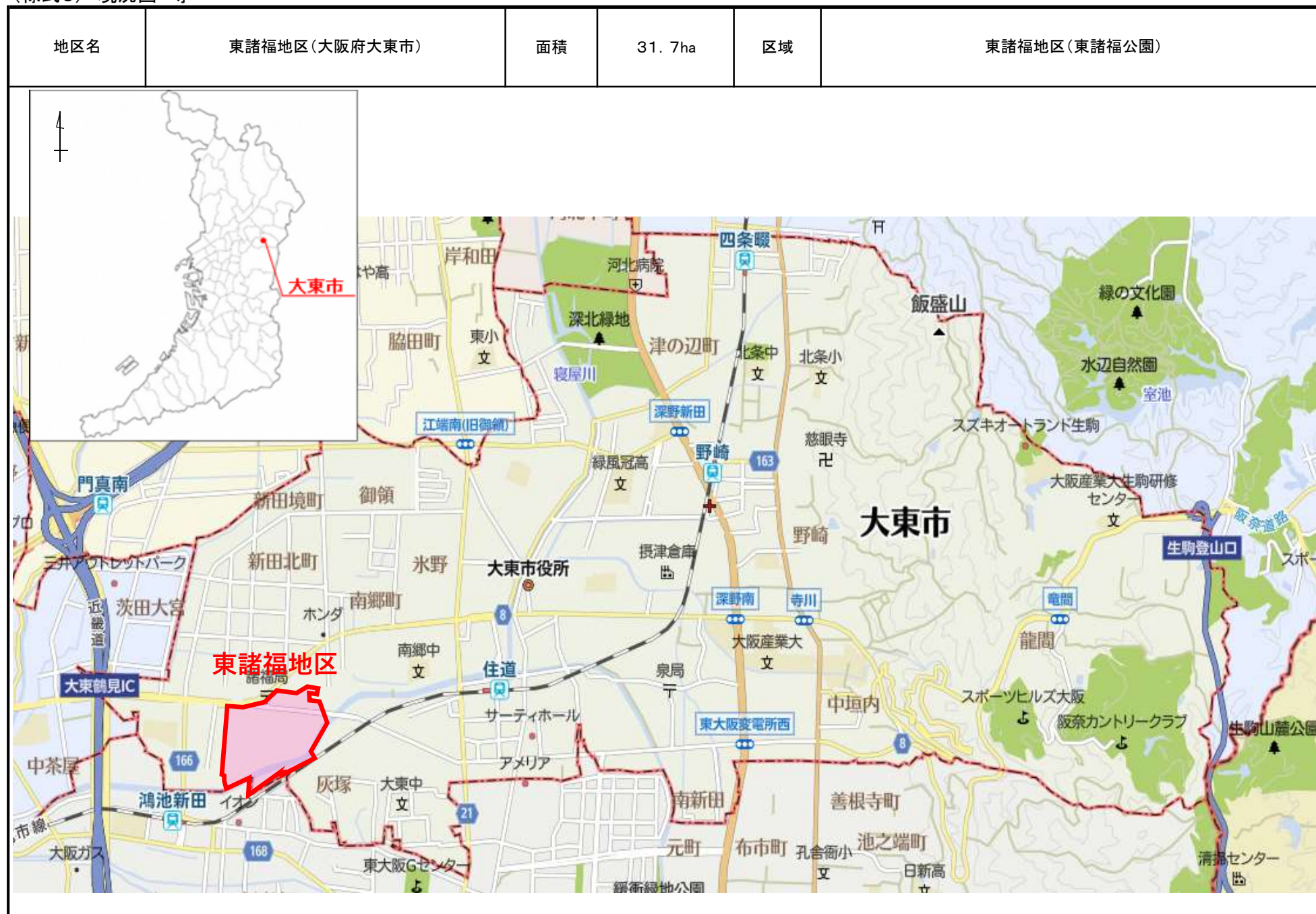
計画の名称	大東市避難空地の防災性向上による安全なまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	令和０８年度 ～ 令和０８年度（１年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大東市												
計画の目標	都市公園「東諸福公園」は、大東市地域防災計画において一時避難場所として設定されているが、さらなる防災拠点機能の向上を図り、災害直後の避難や救助によって助かる生命を確保するため、多数の負傷者の救護が想定される応急救護所や、医薬品などの緊急衛生物資を雨に濡れずに一時保管するストックヤードとなり得る「屋根付広場」を公園空地に整備する。 東諸福公園は一時避難所の他、災害時用臨時ヘリポート、応援部隊の受け入れ及び活動拠点、応急仮設住宅建設予定地としての避難地機能が複数設定されており、避難生活が長引く局面においては、避難広場が応援部隊の活動拠点や仮設住宅の建設地となる可能性があり、避難広場機能の変更が余儀なくされても、避難者が安心して避難できる広場機能の確保と充実により、避難空地の防災性向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	24	A	24	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ R 8 当初 ）		（ R 8 末 ）
1	東諸福公園に屋根付広場を整備することで、公園を中心に半径500mの避難対象圏域に在住し、想定される避難者数のうち、ご高齢者や幼いこどもたち等、特に配慮が必要な避難者数の人口カバー率の100%以上の増加を目指す。 （整備後の人口カバー率）＝〔整備面積／必要面積（対象人員×１人当たり避難面積〔1㎡/人〕）〕×100 既に公園内管理棟内に66㎡避難スペース有り 対象人員： 避難対象圏域におけるご高齢者や幼いこどもたち（介助・介護者含む）の避難者数＝133人 必要面積：133㎡ 既設整備面積：66㎡ 要整備面積：67㎡			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	大東市	直接	大東市	-	-	都市防災総合推進事業（東諸福公園）	防災機能向上のため、都市公園「東諸福公園」の空地に、既設避難施設を補完する屋根付広場（A = 6 7 m2）を整備する	大東市	■					24		策定済
											小計						24		
											合計						24		

(様式6) 現況図 等



事前評価チェックシート

計画の名称： 大東市避難空地の防災性向上による安全なまちづくり（防災・安全）

[illegible]